

標茶町地球温暖化防止実行計画進行管理

平成27年度の状況（進行管理）を公表します。

	15年度使用量	27年度使用量	比較	増減率
ガソリン	49,656 ℓ	62,225 ℓ	12,569 ℓ	25.3 %
軽油	211,183 ℓ	225,534 ℓ	14,351 ℓ	6.8 %
灯油	258,382 ℓ	263,776 ℓ	5,394 ℓ	2.1 %
A重油	1,044,715 ℓ	705,720 ℓ	338,995 ℓ	32.4 %
LPガス	9,312 □	7,305 □	2,007 □	21.6 %
電気	4,298,890 kwh	4,114,353 kwh	184,537 kwh	4.3 %
廃プラ一般	306 t	456.6 t	151 t	49.2 %
廃プラ産廃	0.18 t	6.82 t	6.64 t	3,688.9 %
廃油産廃	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0 %
CO ₂ 排出量	6,646,736 kg	6,146,863 kg	499,873 kg	7.52 %

実行計画の削減目標

6,646,736 kg	2.2 %	6,500,799 kg
--------------	-------	--------------

結果分析

基準年である平成15年度に比して、二酸化炭素排出量は499 t減少し、削減目標である2.2%を上回り約7.5%の減となりました。

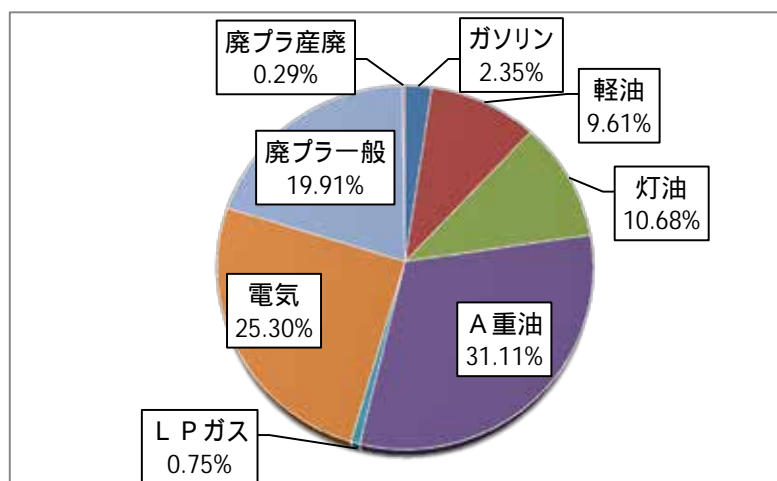
特にLPガス・A重油の削減率が大きくなっていますが、LPガスについては、設置施設と使用の減少、A重油については、各施設の熱暖房の燃料が灯油へ変更されたことによるものであり、電気については、節電効果による電気消費量が減少しており、合せて削減の主因となっています。

ごみとして出るプラスチック類については、燃焼量が増加しており、また組成率の増加と合わせて排出量が増加傾向にあります。今後においても、資源化できるものはできるだけ分別していただきますよう、町民の皆さんにご協力をお願いします。

また、ガソリン・軽油の増加については、主に公用車の燃料ですが、大型車両の増加、外勤・出張時の車両使用、除雪体制の強化などが原因であり、今後も車種の変更や業務の見直し等による削減に努めます。

新たな計画に基づく取組においても、ごみ分別の広報、更なる省エネルギーに向けた取り組みや公用車の効率的な使用を図るなど、CO₂削減目標達成に向けて鋭意取組を進めてまいります。

※組成率…年4回の抽出検査による・プラスチック類の含まれる割合

27年度CO₂排出量構成比

問い合わせ先

役場企画財政課企画調整係

(2階 窓口 485 - 2111 内222)